

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国際動物専門学校	平成9年1月27日	下 藪 恵子	〒154-0014 東京都世田谷区新町2-1-5 (電話) 03 (5430) 4400			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 シモゾノ学園	平成9年1月27日	下 藪 恵子	〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-3-2 (電話) 03 (5430) 4400			
目 的	地球温暖化や都市開発化が及ぼす自然破壊など地球上に生息するあらゆる動植物と自然環境との関係を総合的に学び、動物の保護と飼育管理技術を身につけた人材育成を目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授業 時数又は総単 位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養	動物管理 専門課程	自然環境・ 動物飼育学科	2年 (昼)	1,800単位時間 (又は単位)	平成23年12月22日文 部科学省 告示第166号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,410 単位時間 (又は単位)	30 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	360 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人	89人	4 人	6 人	10 人		
学期制度	■前 期：4月1日～9月30日 ■後 期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験による		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月24～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月8日 ■春 季：3月22日～4月9日 ■学 年 末：3月31日		卒業・進級条件	修了すべき学科目について試験を行 い、合格者に対して当該学科目の修了 を認定する		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応		課外活動	■課外活動の種類 国際どうぶつ祭 等 ■サークル活動 (有・無)		

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等：動物業界（動物園・水族館、牧場、ペットショップ等）</p> <p>■就職率<sup>※1</sup> 100.0%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup> 88.9%</p> <p>■その他（任意）</p> <p>（平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報）</p>	主な資格・検定	動物飼育管理士2級、3級
中途退学の現状	<p>■中途退学者 3名 ■中退率 4.2%</p> <p>平成27年5月1日在学者 93名（平成27年4月入学者を含む）</p> <p>平成28年3月31日在学者 90名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的、進路変更、健康問題等</p> <p>■中退防止のための取組 経済的支援、担任・スクールカウンセラーによる相談</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://iac.ac.jp">http://iac.ac.jp</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・動物園・水族館で求められるスキルの一つである様々な動物に対するトレーニングが実施できる人材を育成するために企業との連携を図り、ご指導いただく事でそれを反映した授業内容を導入する
- ・仕事をする上でのプロ意識や動物を扱う上での生命倫理などを考えられる人材を育成するために企業との連携を図り実際の授業へのご指導をいただく

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属	名 前	所 属
下 菌 恵子	国際動物専門学校教職員	赤石 愛子	国際動物専門学校教職員
下 菌 智一	国際動物専門学校教職員	佐藤 理子	国際動物専門学校講師
今西 孝一	国際動物専門学校教職員	笹木 久美子	国際動物専門学校教職員
大坪 利久	国際動物専門学校教職員	渡辺 直子	国際動物専門学校教職員
吉川 鉄平	国際動物専門学校教職員	細井戸 大成	公益社団法人 日本動物病院協会 会長
山下 真理子	国際動物専門学校教職員	小林 孝之	アニマルクリニックこばやし 院長
大木 隆昌	国際動物専門学校教職員	上野 弘道	株式会社日本動物医療センター グループ最高執行責任者
川口 絵津子	国際動物専門学校教職員	田中 健司	株式会社西武ペットケア 代表取締役社長
栗島 みゆき	国際動物専門学校教職員	武宮 臣佐	アバロン・ヒルサイドファーム株式会社
和知 教之	国際動物専門学校教職員	須山 雄次	犬の保育園 FIELD U 代表
黒田 ミユキ	国際動物専門学校教職員		

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 6 月 2 日

第 2 回 平成 28 年 8 月 2 日 (予定)

第 3 回 平成 28 年 11 月 22 日 (予定)

第 4 回 平成 29 年 2 月 28 日 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

多種多様な動物に対応できる技術を身につけるために、学校では飼育する事が出来ない動物の飼育・管理及び技術を動物関連施設で実際に研修を実施し、スキルアップを目指す。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ウマ学	学校では飼育できない動物の飼育管理法及び、大動物を扱う技術、手入れを学ぶ事を目的に実際の乗馬クラブにて指導を受け研修を実施する	アバロン・ヒルサイドファーム株式会社

ライフマネジメント	畜産動物の手入れ法、保定法を学び、ふれあい動物における動物の扱い方や接客技術を身につける事を目的に実際の移動動物園にて指導を受け研修を実施する	福田牧場
-----------	---	------

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

自然環境実習に関する危機管理指導技術向上を目的にフィールド研修を行い教育に活かすと共に技術の向上を目指す。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
横田 淳子	一般社団法人日本動物看護職協会
田中 健司	株式会社西武ペットケア
丸山 一夫	国際動物専門学校卒業生
大江 記代子	国際動物専門学校在校生保護者

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 4 月 28 日

第 2 回 平成 28 年 8 月 30 日 (予定)

第 3 回 平成 28 年 10 月 4 日 (予定)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://iac.ac.jp>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://iac.ac.jp>

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 自然環境・動物飼育科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			英語・英会話 I	基礎的な英会話及び動物関連の英語を学ぶ	1 通	30		○		
○			就業力養成講座	7つの習慣 J を使い、人間力・社会人力の養成をする	1 通	30		○	△	
○			パソコン実習	基本的なパソコン操作を学び、ワード、エクセル、パワーポイントを使える知識・技術を学ぶ	2 通	30		△	○	
○			イヌ学 I	イヌの歴史、行動、犬種、生態、飼育管理などについて学ぶ	2 通	30		○		
○			ネコ学 I	ネコの歴史、生態、種類、飼育管理などについて学ぶ	2 通	30		○		
○			解剖生理・免疫血液学 I	動物の身体の作りや仕組み及び免疫反応や血液に関する様々なことを学ぶ	1 通	60		○		
○			解剖生理・免疫血液学 II		2 通	30		○		
○			公衆衛生学 I	ウイルス・各種感染症・人畜共通感染症の種類や感染経路などについて学ぶ	1 通	60		○		
○			公衆衛生学 II		2 通	60		○		
○			看護臨床学 I	動物看護の概論、動物看護の技術、各種疾患に対する動物看護を学ぶ	1 通	60		○		

○			看護臨床学 Ⅱ		2 通	60		○		
○			臨床栄養学 Ⅰ	栄養素、消化と吸収、代謝と調節や各種疾患に対する栄養や食餌療法について学ぶ	1 通	30		○		
○			臨床栄養学 Ⅱ		2 通	30		○		
○			動物栄養学・基礎栄養学	動物に対する食物栄養に関する基礎学	1 通	30		○		
○			動物栄養学・基礎栄養学		2 通	30		○		
○			ペットフード学	ペットフードの種類、分類、栄養バランスや犬種適正などについて学ぶ	2 通	30		○		
○			薬理学Ⅰ	薬物の分類や調整と投薬などについて学ぶ	2 通	30		○		
○			自然環境保全論Ⅰ	自然環境における環境問題や環境保全について学び、生物多様性や絶滅動物についても学ぶ	1 通	30		○		
○			自然環境保全論Ⅱ		2 通	30		○		
○			自然環境調査法	自然環境に対する調査の基本や色々な環境での調査法を学ぶ	2 通	30		○		
○			自然保護論	自然環境や野生動物に対する、企業活動と自然保護について学ぶ	2 通	30		○		
○			動物飼育管理学Ⅰ	各種動物の飼育管理について学ぶ	1 通	90		○		△
○			動物飼育管理学Ⅱ		1 通	90		○		△

○			野生動物・自然環境学	野生動物と自然環境について学ぶ	1通	30		○		
○			動物園学	動物園とは何か。動物園の役割りや展示方法について学ぶ	2通	60		○		
○			ライフマネージメント学	生命倫理と生態系理論について学ぶ	1通	30		○		
○			鳥類学	鳥類の身体の構造、生態、行動、習性、種類などについて学ぶ	1通	30		○		
○			鳥類学		2通	30		○		
○			アクアリウム・飼育繁殖学Ⅰ	アクアリウムに関する器材や魚類の種類・飼育管理・繁殖などについて学び、	1通	30		○		△
○			アクアリウム・飼育繁殖学Ⅱ		2通	30		○		△
○			アクアリウム・水生環境学Ⅰ	水生環境作成のための水槽セッティング及び水槽レイアウト、水草レイアウトを学ぶ	1通	30		○		△
○			アクアリウム・水生環境学Ⅱ		2通	30		○		△
○			水族園学Ⅰ	水族園とは何か。水族園の役割りや展示方法について学び、魚類から海獣類までの飼育管理について学ぶ	1通	30		○		
○			水族園学Ⅱ		2通	30		○		
○			ウマ学Ⅰ	ウマの特徴とタイプ、行動、習性、扱い、グルーミング、馬装、病気などについて学ぶ	1通	60		○		
○			ウマ学Ⅱ		2通	60		○		

○			飼育管理実習 I	各種動物の飼育管理法、健康管理法について学ぶ	1 通	60		○		
○			看護臨床実習 I	動物の心を知る、衛生管理、保定法、身体検査、投薬、顕微鏡に関する技術を学ぶ	1 通	120		△		○
○			看護臨床実習 I		2 通	30		△		○
○			看護臨床実習 II	x線検査、心電図、超音波検査、外科手術、緊急救命処置の基礎技術を学ぶ	2 通	30		△		○
○			看護栄養実習 I	動物の食餌及びフード等関連した栄養実習	1 通	60		△		○
○			臨地実習	インターンシップによる学外実習において、実践力習得を学ぶ	2 通	60				○
合計				41 科目	1800 単位時間					